

2017 SGH通信

【2年生配布用】

No.7 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

いよいよ 5領域別の「課題研究」がスタートします！

11月の日本語論文完成及び12月の日本語プレゼン発表会に向けて、ゼミ形式を基本として、探究的な学習を推進していく時期となります。

前回の通信では、先行研究・事例調べまでの話をしました。今回の通信では、「研究計画書の作成」をテーマとします。（6月14日、7月5日の内容）

【ゼミ形式授業の日程】

月 日（曜）	実施内容	指導者等	内容等
6月14日(水)	仮説の設定・根拠の調査 研究計画書の作成	正担任・副担任	・テーマ決定などを受けて、論文作成の計画書を作成
7月 5日(水)	研究計画書の完成	正担任・副担任	・計画書を完成させ、大学教官ゼミ指導への準備

「研究計画書」作成（6月14日、7月5日・PC教室使用）の主な流れ

1. 目的 「研究計画書」を作成することで、6月～11月までの課題研究に見通しを付けるとともに、作成した研究計画書を、大学の先生方に見ていただき、指導していただく材料とする。
2. 確認事項 2年生での研究は、「ゼミ形式」を採用する。この「ゼミ形式」とは、ある程度、研究の方向性が近い仲間と同一のゼミに属し、大学の先生とファシリテーター役の本校教員の指導のもと、「個人研究」を進める形式をとる。本校SGHスローガンに基づき、「アジアの持続可能性に資する研究」という方向性は継続する。
3. 作成過程
 - (1) 今までのSGH学習の振り返り
 - 【昨年度の研究テーマと研究内容の要旨】の記入
 - 【昨年度の研究に利用した主な資料（出典）】の記入
 - 【昨年度の研究における反省点とその改善方策】の記入



(2) 【研究テーマ】の記入

例：「カンボジアの医療格差解消を求めて ～政府の医療制度改革の提言～」

(3) 【研究の目的】の記入 ◇現状はどのようなもので、何が課題なのかをはっきりさせる。

◇その課題を解決するための研究は、誰のための研究になるのか。

◇その課題を解決して、どのような社会を構築しようと考えているのか。

(4) 【リサーチクエスチョン】の記入

◇研究テーマ（メインの問い）の答えを導き出すために、具体的な問い（RQ）に小分けして、探究活動を行う。

◇次の項目の【仮説】や【仮説検証に必要なデータ】もある程度想定しておく必要がある。



(5) 【仮説】の記入 ◇暫定的な答えですが、これがないと次に必要なデータ探しに繋がりません。



(6) 【仮説検証に必要なデータは何？】 ★ここにしっかり取り組めた人が、良い論文を書くことができます。

◇RQ1～3のそれぞれの仮説を検証するためには、どのようなデータを用いればよいのか、できる限り列挙し、「研究計画書」の空欄に書き込む。ここでは、インターネットに頼らず自分で想定することが大切です。

◇データを見ていく中で自分の予想が覆されることは当然あります。この場合、複数のデータをよりどころにして仮説に変更を加えることは、あり得ることです。

◇ 当日は、詳細な手引きを渡しますが、まず流れを頭に入れておいて下さい。